

放送日 令和7年2月3日（月）
担当者 副市長 川村 裕樹

おはようございます。副市長の川村裕樹です。

昨年4月に副市長となり、10か月が経ちました。就任した際、私は皆さんにこの市役所全体が一つの組織として、部長職を中心に横串が刺さったような、風通しの良い環境づくりを目指してまいります。とお話しさせていただきました。まだまだ道半ばですが、改めて皆さんに「公の価値」について私の考えをお話いたします。

私たちは市民の安心、安全、住みよいまちづくりを目指して正職員、会計年度職員含め800名で日々それぞれの職責に応じて業務に当たっています。相手の立場に立ち、目の前の困りごとの解決、すぐには結果は出なくとも未来のために取り組まなければならない施策立案など「公」の立場でなければできないことに、皆さん「価値」を見出してほしいと願っています。その価値をさらに高めるためには、民間の高いレベルの企業理念や業務遂行体制などを学び、そして価値観を共有できるパートナーと連携していくこと、これは新たな「公の価値」となり、結果市民に対して最大のサービスを提供し続けるものと思っています。

そのためには、職員の意識はとても重要です。私は日頃から部長会議を通じて皆さんに、整理整頓や挨拶の重要性、凡事徹底など基本的な「所作」について繰り返し話をしてきました。

その人の言動、振る舞い、全てにおいて見られていることを意識してください。我々は公の立場として仕事をしている以上、これは大切なことであり、毎日意識していかなければならないことです。

北広島市はこうした考えのもと、未来に向けて大きな投資を行っています。この投資が進められている段階から、職員自らがその価値を熱く語り、そして納得していただき、未来を託す次世代の子どもたちにつなげていく、そんな気概を持って、日頃の素晴らしい所作につなげていただきたいと心から願っています。

私も引き続き職員との会話を大切に業務に邁進していきます。

「魂は細部に宿る」、自らの足元を今一度確認いただき、本日も一日素敵な所作を心掛け業務に取り組んでいきましょう。